

「おひとり様経済」について

皆さんは「おひとり様経済」という言葉を聞いたことがありますか。近年中国では一人暮らしをする若者が増加しています。ある調査機関によると2018年の中国での独身者数は約2億4,000万人となり、このうち約7,700万人が単身で居住し、2021年には約9,200万人になると推定されており、一人暮らしをターゲットとしたサービスや、商品開発が盛んになっています。中国で有名なECサイト「淘宝(タオバオ)」で一人暮らし向けのミニ家電を検索してみると、3種類の鍋がついており一度に炒め物、煮物、蒸し料理ができる鍋が人気があるように、一人暮らしをターゲットとした電化製品は高性能な商品がよく売れているようです。今回は、おひとり様経済について紹介させていただきます。



淘宝で人気の3種類の調理ができる鍋

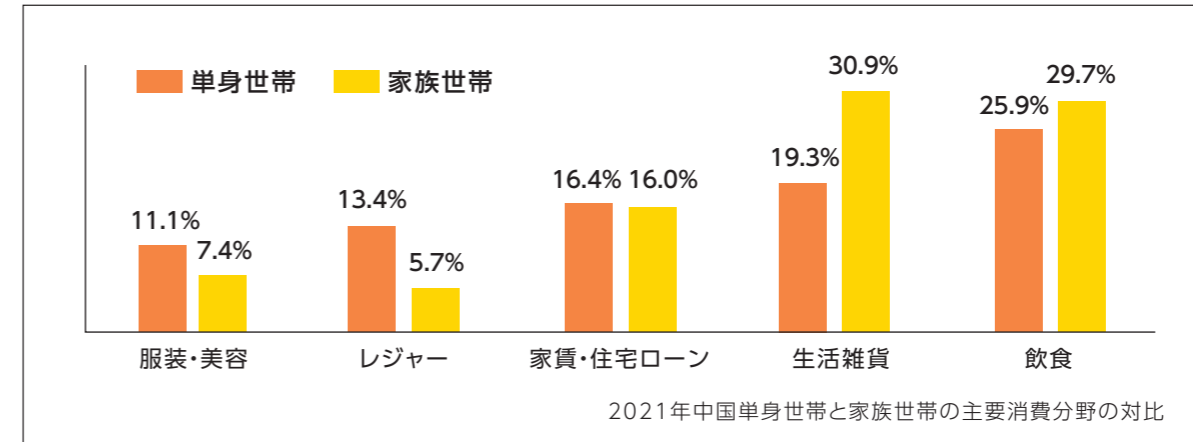
なぜ一人暮らしを好む若者が増加しているのでしょうか？インターネットやSNSが普及するにつれ、仕事や生活のあり方が無限に広がっています。それにより、若者は誰にも邪魔されず、自分が望んだ生活を送ることができるようになり、より快適な空間や時間を確保することを求めるようにな

りました。またインターネットやSNSで世界中の人々と繋がることができる一方で、直接対面で人とコミュニケーションをとる機会が少ないため、コミュニケーション能力の低下や人と関わることを避ける若者が増加し、より一人を好む人々が増加しています。さらに結婚し家庭を持つことに対して不安を抱く若者も多いようです。家庭を持つことで日々の生活にかかる費用は増え、今以上に仕事をしなければならないというプレッシャーに押しつぶされそうになる人も多くいるようです。

人口調査データによると、中国の家族構成は大きく変化しています。「一人っ子政策」により中国の家族構成人数が少なくなり、都市化プロジェクトにより建設されたマンションは、大家族向けではなく小家族や単身者向けのスタイルが多くなっています。また2021年に中国の若者で独身期間が1年を超えた者は約73%に達し、そのうち約43%は3年以上でした。さらに約7%は恋愛経験がないようです(2021年中国独身層の消費行動調査及び独身経済動向分析報告より)。



それでは独身の若者が増加することは、経済にどのような影響を与えているのでしょうか。近年の若者の特徴として自分の好きなことに対してはお金を費やすという傾向があり、若者は自分自身で楽しめる物事を求め、より斬新で面白いサービスを追求し続けています。家族や親戚と離れ、都心部で一人暮らしをする若者は、経済的負担が家族世帯と比べ少ないため、貯蓄に対する意識が低く、より多くの時間やお金を自分のために使いたいと考えています。



家族世帯と単身世帯では消費行動も異なっており、家族世帯は生活用品での消費が目立ちますが、一方の単身世帯はレジャーへの消費が目立っています。



火鍋専門店「海底撈火鍋」での一人用のコースプラン

「おひとり様経済」が成長するにつれ、様々な業界がこのおひとり様をターゲットとしたサービスや商品開発をしています。調査によると、おひとり様は家族世帯よりも、外食をしたリインスタント食品を利用する機会が多い傾向にあるようです。独身者の約68%が一人で食事をし、そのうち約32%は休日でも一人で食事をすることが分かっています。また約45%の独身者が外食をしているようです。多くのレストランではおひとり様をターゲットとし、席と席の間に仕切りを設け、一人でも気軽に外食ができるようなお店作りを行っています。中国で有名な火鍋専門店の「海底撈火鍋」(ハイディラオ)はおひとり様をターゲットとした一人用のコースプラン(約1,700円)を提供したところ、売れ行きが好調のようです。一人用のコースは、おひとり様の消費回数を

増やすだけでなく、お店の回転率も上げることができます。また食事中にマジックショーやネイル、ハンドケアのサービスを受けることもできます。

中国では毎年11月11日を「独身の日」としECサイトで大規模なイベントが開催されています。日付に1が並ぶことで独身を連想させ、1990年代に中国の大学生達が贈り物をしあうイベントを開催したことが始まりと言われています。このイベントが中国全土に広がり、大手ECサイトが独身の日とし2009年から毎年イベントを開催するようになりました。最大手のアリババグループは2021年のセール期間の総取引額は約9兆6,000億円であり、前年より約7,000億円増加したと発表しました。おひとり様にはミニ冷蔵庫、電気ケトル、食洗機や乾燥機などの小型家電が人気です。高性能な小型家電は一人暮らしの若者にとって多くの自分の時間を確保することができる必要不可欠なものになっています。

今後も飲食業界や、家電業界にとどまらず、フィットネス業界、ペット業界、旅行業界等がおひとり様をターゲットにした商品開発を行い、消費の後押しをしていこう。おひとり様が増加するにつれ、様々なサービスが展開され、個人のニーズを満たすサービスや商品の提供がより求められます。

今後もおひとり様経済に注目していきたいと思えます。

大連亜福友諮詢有限公司
(株)アジア福岡パートナーズ大連現地法人)
杜 妹亭(としゆてい)

